

全国大会参加報告

第 41 回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 2026. 8. 14～24 札幌市他

○ 鈴木陽和

グループステージ

JFA 福島アカデミー（東北①）	—	鹿島アントラーズつくば（関東⑧）	副審
ソレッソ熊本（九州②）	—	名古屋グランパス（東海④）	副審
インテルナシオナル（関西③）	—	清水エスパルス（東海⑤）	副審

ラウンド 32

インテルナシオナル（関西③）	—	フォーリクラッセ仙台（東北②）	副審
----------------	---	-----------------	----

ラウンド 16

サンフレッチェ広島（中国①）	—	フォーリクラッセ仙台（東北②）	副審
----------------	---	-----------------	----

今大会では、グループステージからラウンド 16 まで、5 試合の副審を担当させていただきました。男子の全国大会に関わるのは、U12 カテゴリーしかなかったもので、スピード感や試合レベルについていけるか心配でしたが、しっかりついていくことができ、冷静にタッチジャッジやオフサイドの判定をすることができました。また今大会は、U22 カテゴリーや 2 級強化の研修会となっており、全国各地からいらっしゃった 2 級審判員の方からも、たくさんの学びを得ることができました。特に、新競技規則に対するマネジメントで参考になることが、とても多かったです。

この大会で学んだことを沢山活用して、さらに成長していきたいです。

○ 高久誠弘

グループステージ

サガン鳥栖 U-15（九州①）	—	パテオ FC 金沢ジュニアユース（北信越②）	副審
-----------------	---	------------------------	----

予選リーグの副審を担当しました。全国大会という緊張感があるゲームでしたが、審判団 4 人で協力して試合をリードすることができました。スピード感がある中での球際の争いや攻守の切り替えの速さなどオホーツク地区や北海道ではなかなか経験できないことばかりで、改めて全国大会で審判をすることの難しさや大変さを学ぶことができました。同時に数年後この舞台で主審を務められるレベルに成長していきたいという刺激をもらうことができた良い経験となりました。

今大会の経験を今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

